

2022

近畿双松会報

—2022（令和4）年度—

（旧）島根県立松江中学校

島根県立松江高等学校

島根県立松江北高等学校



3年ぶりの「総会・講演会・懇親会」全員集合記念写真 2022. 11. 26

2022（令和4）年度 近畿双松会報

目次

2022（令和4）年度 近畿双松会「総会 講演会 懇親会」次第・・・・・・・・	2
同、出席者名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3～4
2022（令和4）年度 近畿双松会「役員会」報告・・・・・・・・	5
2022（令和4）年度 近畿双松会「総会 講演会 懇親会」報告・・・・・・・・	5～9
■第一部 総会 ご挨拶（要旨） 近畿双松会 松本耕司会長（16）・・	6
双松会 勝部昌幸副会長（21）・・	6
松江北高校 木原和典校長・・	6
総会議事：活動報告、会計・監査報告、役員の選任（紹介・挨拶）・・	7
（議事資料1）活動事業報告・・	10
（議事資料2）会計・監査報告・・	11
（議事資料3）役員の選任・・	12
■第二部 講演会・報告「外科医として消化器癌と戦う」・・	7&13
講師：土岐祐一郎氏（30・理9期）大阪大学消化器外科学教授	
■第三部 懇親会：ご来賓紹介、乾杯、スピーチ、校歌斉唱、万歳三唱・・	7
全員集合記念写真、実務ご協力者一覧	
■懇親会（期別テーブル）写真・・・・・・・・	14～15
2022（令和4）年度 諸行事報告・・・・・・・・	16
2022（令和4）年度 SNSによる情報発信と実績・・・・・・・・	17
近畿双松会からのお願い「メールマガジンとLINE@を受信ください」・・	18
★2022（令和4）年度 松江北高校十大ニュース★・・・・・・・・	19～20
2022（令和4）年度 「運営費支援、寄附」ご協力者ご芳名・・	21
広告・・・・・・・・	22
編集後記・・・・・・・・	裏表紙

■近畿双松会の歴史■

近畿双松会の創設は大正末期にも遡ると言われ、以来、近畿在住の旧制松江中学校卒業生有志により毎年会合を催し親睦がはかれてきました。戦争により活動は一時中断されましたが、昭和33（1958）年に再設立され、その後、新制の松江高等学校・後継の松江北高等学校卒業生の同窓会と統合。平成30（2018）年には設立60周年を迎え、歴史と伝統を伝えて“新しい時代”に向かいます。

【2022（令和4）年度 近畿双松会「総会 講演会 懇親会」次第】

2022 年 11 月 26 日（土）AM11 時半～、中央電気倶楽部 5 F ホール（受付開始：11 時）

◆第一部「令和4年度総会」（11 時半～正午） 司会 山口紀子 副会長（高23）

1. 開会の辞：
2. 物故者黙祷：
3. ご挨拶：近畿双松会 松本耕司 会長（高16）
4. ご来賓ご挨拶：双松会 勝部昌幸 副会長（高21）
島根県立松江北高等学校 木原和典 校長
5. 議長の選任：（議事報告 宍道弘志 副会長・事務局長（高31））
6. 議事：（1）活動報告（R 元～4 年）、会則の改訂：
：（2）会計報告（R 元～4 年）： ※監査報告：鶴羽孝子監事（高22）
：（3）役員の変動、新副会長の紹介：
7. 閉会の辞：

◆第二部「講演会」（正午～12 時 50 分） 講師紹介 宍道事務局長

- ・演題：「外科医として消化器癌と戦う」
- ・講師：土岐 祐一郎 様（高30（理9）期、大阪大学消化器外科学教授）
（母衣小・松江二中卒、1985 年大阪大学医学部卒、2020～2022 年大阪大学医学部附属病院長、
病院長として新型コロナウイルス感染に対応）⇒ 詳細ご紹介 別紙

<休憩（10分）>

◆第三部「懇親会」（13～15時） 司会 徳田完二 副会長（高24） 松村 聡 副会長（高26・理5）

※「三密回避」「適切なマスク着用」のマナーに留意※

1. 開会の辞：
2. ご来賓・講師紹介：勝部昌幸様（双松会副会長） 金平 憲様（高16・双松会幹事長）
土岐 祐一郎様（講師・大阪大学消化器外科学教授）
木村恵吉様（近畿松江会副会長） 竹谷 奨様（同・事務局長）
3. 乾杯：（音頭）双松会 金平 憲 幹事長
4. 会食・懇親・スピーチ：堀江真三人様（高2） 伴 稔也様（高9） 志賀 潔様（高11）
岡 久夫様（高17） 岩田一志様・新見泰朗（高19） 飯石浩康様（高25・理4）
福富由美子様（高26） 高野直樹様（高36） 田中秀明様（高41）
5. 校歌斉唱（全曲）：※赤山健児の歌 ※山脈浮かびて
6. 万歳三唱（発声）：真庭 功様（高15）
7. 全員集合写真撮影：
8. 閉会の辞：

<終了（解散）：15 時 20 分>

2022（令和4）年度 近畿双松会「総会・講演会・懇親会」 出席者名簿

ご来賓

	卒業期	卒業年	氏	名	所属等	テーブル	初
1	高2 1	S 4 5	勝部	昌幸	双松会副会長	B	
2	高1 6	S 4 0	金平	憲	双松会幹事長（母衣小・附属中）	B	
3	浜田高校		木原	和典	松江北高校校長	B	初
4	松江商業		木村	恵吉	近畿松江会副会長（雑賀小・松江四・バドミントン）	A	
5	松江高専		竹谷	奨(スズ)	近畿松江会事務局長（八束小・八束中）	A	

講師

6	高30・理9	S 5 4	土岐	祐一郎	大阪大学消化器外科学教授（母衣小・松江二）	B	初
---	--------	-------	----	-----	-----------------------	---	---

会員

	卒業期	卒業年	氏	名	旧姓	小学校	中学校	高校クラブ	テーブル	初
7	高2	S 2 6	堀江	眞三人		北堀小	旧松中	新聞部	A	
8	高6	S 3 0	田村	稔久		北堀小	松江一		A	
9	高6	S 3 0	森岡	敏眞		母衣・西郷（隠岐） 雑賀（引揚げ時、大連）	松江二	ユネスコ・ 写真・英研	A	
10	高7	S 3 1	青戸	俊夫		生馬小	生馬中	新聞	C	
11	高7	S 3 1	山本	雅昭		恵曇小	恵曇中	バレー	B	
12	高9	S 3 3	澄川	光成	伊藤	雑賀小	松江四			
13	高9	S 3 3	田中	英明	小立	乃木小	松江三	柔道	C	
14	高9	S 3 3	伴	稔也		附属小	附属中		C	初
15	高9	S 3 3	逸見	充宏		玉島小（岡山）	松江一	バドミントン		
16	高9	S 3 3	木村	八重子	木山	母衣小	附属中	ソフトボール	C	
17	高9	S 3 3	佐々木	悦子	岡部	徳島市立津田小	松江一		C	
18	高9	S 3 3	佐藤	早智子	松村	雑賀小	附属中	花道・手芸部	C	
19	高10	S 3 4	面白	紘		本庄小	本庄中	サッカー	D	
20	高11	S 3 5	押田	良樹		雑賀小	松江四	軟式テニス・図書	A	
21	高11	S 3 5	志賀	潔		附属小	附属中		D	
22	高11	S 3 5	田中	一男		白潟小	松江三	宍道湖一周 2・3年学年1位	D	
23	高11	S 3 5	新谷	公子	石飛	入間（掛合）	掛合中	音楽	D	
24	高12	S 3 6	萩野	貫悟	筒井	揖屋小	東出雲中（揖屋）		D	
25	高14	S 3 8	加藤	巡一		附属小	松江一	化学分析	E	
26	高14	S 3 8	川上	克彦		附属小	附属中		E	
27	高14（山口高）	S 3 8	小泉	勝是		北堀小	松江一		E	
28	高15	S 3 9	金坂	喜好		大野小	大野中		E	
29	高15	S 3 9	真庭	功		益田・吉田小	附属中	放送部	E	
30	高16	S 4 0	梅木	隆志		森山小 （下宇部尾分）	美保関北中	陸上部	F	
31	高16	S 4 0	松本	耕司		本庄小	本庄中	陸上部	B	
32	高16	S 4 0	森藤	哲章		広瀬小	広瀬中	軟式テニス同好会	F	
33	高17	S 4 1	岡	久夫		法吉小	松江一	陸上部	G	
34	高17	S 4 1	永井	貞泰		仁多・鳥上小	仁多・鳥上中	弓道・写真部 2年時バレーボール	G	

	卒業期	卒業年	氏	名	旧姓	小学校	中学校	高校クラブ	テーブル	初
35	高1 7	S 4 1	岩本	眞左子	万波	北堀小	附属中	合唱部	G	
36	高1 8	S 4 2	小田	一美		内中原小	松江一	天文気象	F	
37	高1 9	S 4 3	岩田	一志		荒島小 (安来)	安来三	バレー・文芸	G	
38	高1 9	S 4 3	新見	泰朗		附属小	附属中		G	
39	高1 9	S 4 3	万波	迪義		附属小	附属中	陸上部	G	
40	高1 9	S 4 3	池田	喜美代	川原	北堀小	松江一	考古学部	G	
41	高2 0	S 4 4	小数賀	健二		法吉小	松江一		H	
42	高2 0	S 4 4	三好	資子	恩田	北堀小	松江一	(帰宅部)	H	
43	高2 0	S 4 4	物種	慶子	北脇	本庄小	付属中		H	
44	高2 0	S 4 4	山寄	麻里子	木村	益田・松原小 (浜田)	浜田二・松江一	双曲 (お琴)	H	
45	高2 2	S 4 6	村田	貢		西郷小	西郷中	バンド活動 早弁クラブ	I	
46	高2 2	S 4 6	大浦	綾子	大浦	北堀小	松江一	機械体操	I	
47	高2 2	S 4 6	鶴羽	孝子	石橋	持田小	松江二		I	
48	高2 2	S 4 6	西村	紀子	松本	附属小	附属中	茶道部	I	
49	高2 3	S 4 7	朝比奈	博則		吉田小 (安来)	安来二	野球部	J	
50	高2 3	S 4 7	松本	幸子		母衣小	松江二	バドミントン	J	
51	高2 3	S 4 7	山口	紀子	宮崎	内中原・松原 (浜田) ・ 温泉津・木次	木次・川本・松江一	生物	J	
52	高2 4	S 4 8	伊藤	澄夫				バスケット	J	
53	高2 4	S 4 8	徳田	完二		隠岐・御波小	隠岐・海士中		J	
54	高25・理4	S 4 9	飯石	浩康		大東小	大東中		J	初
55	高2 6	S 5 0	岩谷	智志		北堀小	松江一	美術	K	
56	高2 6	S 5 0	川谷	徳彦		古江小	古江中	J R C	K	
57	高2 6	S 5 0	周藤	達夫		北堀小	松江一	社研	K	
58	高2 6	S 5 0	福間	則博		雑賀小	県外	サッカー	L	
59	高26・理5	S 5 0	松村	聡		北堀小	松江一		L	
60	高2 6	S 5 0	井山	裕子		佐太小	附属中	バスケット	L	
61	高2 6	S 5 0	福富	由美子	錦織	佐世小	大東中	バドミントン	L	初
62	高2 6	S 5 0	前羽	香江	幡	附属小	附属中	J R C	L	
63	高2 6	S 5 0	矢野	美紀子	難波	小田小	赤来中	バレーボール	L	
64	高2 7	S 5 1	野口	博也		内中原小	松江一	剣道部	M	
65	高2 7	S 5 1	木田	京子	能海	本庄小	本庄中		M	
66	高2 7	S 5 1	新宮	富美子	新川	母衣小	松江二		M	
67	高2 7	S 5 1	松田	稚子	永島	意東小	東出雲中	硬式テニス	M	
68	高2 9	S 5 3	田中	年恵	森広	母衣小	松江二	体操部	M	
69	高3 1	S 5 5	宍道	弘志		内中原小	松江一	弓道部	K	
70	高3 2	S 5 6	浅沼	吉正		城北小	松江一	バレーボール	K	
71	高3 6	S 6 0	高野	直樹		鳥取市稲葉山小	松江一	軟式テニス	H	初
72	高4 1	H 2	田中	秀明		鹿島東小	鹿島中		H	初
73	高43・理22	H 4	今西	亜子	井山	法吉小	附属中	写真	K	

■2022（令和4）年度 近畿双松会

「役員会」報告

- ・日時／令和4年6月18日（土）11時～
- ・会場／中央電気倶楽部会議室

役員会は、年間の事業状況、収支状況について協議するため、例年年初に開催してきましたが、コロナ感染禍により、令和2年2月29日以降、開催中止を余儀なくされてきました。漸く落ち着きを見せてきたこの時期を見計らい、実に2年4ヶ月ぶりの開催にこぎつけました。

今回は新たに役員に就任された9名を含み、過去最高の29名が出席という盛会となりました。

●主な協議、決定事項

- ①「総会・講演会・懇親会」は、会場の食堂業者未定の問題を含め、11月末を候補日として、なんとか開催できるよう最後まで努力する。
- ②「文楽鑑賞会」、「新ハイキング（歴史ウォーキングと里山ハイキングを一本化）」、「宝塚鑑賞会」の行事もできるものから逐次再開していく。
- ③その他、中堅・若手会員の参加、コロナ二年間の収支の落ち込み、SNS 発信充実のためのメールアドレスの取得の促進などの当面の課題について、役員間の意思疎通を図ることができた。

役員会後は、昼食懇談会で全員の方に近況や提言などのスピーチをいただきましたが、決めるべきことを決め、相互理解もすすんだ有意義な役員会となりました。



◆参加役員は下記の29名。（敬称略）

【常任顧問】押田良樹(11) 【顧問】梅木隆志(16) 三好資子(20) 【会長】松本耕司(16) 【副会長】松本潤・山口紀子(23) 徳田完二(24) 松村聡(26/理5) 宍道弘志(31/兼事務局長) 【監事】周藤達夫(26)

【常任幹事】加藤巡一(14) 金坂喜好(15) 土田和男(16) 岡久夫(17) 岩田一志(19) 小敷賀健二(20) 山崎麻里子(20) 村田貢(22) 松本幸子(23) 富岡幸子(35)

【幹事】田村稔久(6) 逸見充宏(9) 面白紘(10) 田中一男(11) 池田喜美代(19) 内藤善夫(22) 野口博也(27) 福江直広(40) 今西 亜子(43/理22)

■2022（令和4）年度 近畿双松会

「総会・講演会・懇親会」報告

- ・日時／令和4年11月26日（土）11時半～15時20分
- ・会場／中央電気倶楽部 5F ホール

新型コロナ感染の拡大のため、令和2・3年の総会は開催できず、今年は3年ぶりの開催となりました。その間には、①課題である「中堅・若手の参加拡大」もできず、②年間の運営費支援者も減って繰越金が減少し、③力を入れている SNS 受信者の増加も期待したほどには伸びないというマイナスの指標に直面することになりました。

こういった背景の中でなんとか3年ぶりの総会を開催したいと6月役員会で意思統一し、その後の感染情報に翻弄されながら、9月中旬になり第7波もようやく鎮静化に向かったと判断し、例年より一カ月も案内を遅らせ、10月1日付で正式に開催案内を発送し、参加連絡ハガキを本人負担から「受取人払い」とする大きな変更もしました。

また、この間、中央電気倶楽部の食堂業者未定という課題にも直面し、ケータリング業者の利用もありうるかと覚悟もしましたが、なんとか間に合い、ホッとする経験もしました。

その結果、予測を超える73名ものご参加申し込みがあり、テーブルあたりの人数を6人に止め、アクリル板を設置するなど、極力、三密を回避する対策をとりながら開催をしました。

総会は後述のように、直接お互いの元気を確かめ合うことができるという期待通りの楽しい会となりましたので、この会報やホームページでぜひご確認ください。

実は、開催日前後から再び感染者が増加に転じ、猛威を振るっていますので、結果的にはピンポイ

ントのタイミングで開催できたのかもしれませんが、3年余の苦労に対する神様からのご褒美であったと考えたいと思います。

※当日の出席者名簿（P3～4 掲載）

（1）第一部：「総会」

※式次第（P2 掲載）

第一部は山口紀子副会長（23）の司会で始まり、物故者黙祷のあと、松本耕司会長（16）、続いてやむをえぬ所用によりご欠席となった双松会金津任紀会長（16）の代理としてご出席の勝部昌幸副会長（21）、新しく校長として着任された松江北高校木原和典校長から、以下のようなご挨拶がありました。



山口副会長

■近畿双松会 松本耕司会長 ご挨拶（要旨）



三年ぶりの総会に、予想を超える多数の皆様にご参加をいただき、厚く御礼を申し上げます。

ご承知のようなご時勢ですので、マナーを守ってのいささか味気ない懇親会になるかと思いますが、まずは「お互いの元気を確認」することを「一番の目標」とし、その中で楽しくなごやかな会にしたいと考えています。

総会も二年飛び、気がつけば来年は「設立65周年」の記念の年になります。当会も中堅世代、若い世代の参加にはまだまだ課題は多くありますが、引き続き、母校とふるさとの発展を願い、近畿における友誼・交流の場として、この会を次代につないでいきたいと考えていますので、今後とも皆様のご参加、ご協力をお願いいたします。

■双松会 勝部昌幸副会長 ご挨拶（要旨）

ただ今、三年ぶりの総会に至るこの間のご苦労をうかがい、本日のこの盛会に心からお祝いを申し上げます。

私は退職後、今年6月までの10年間、島根県PTA連合会の事務局長を務めました。



在任が長くなったのは2020年に1万人が参加する全国大会が出雲地区数ヶ所で開催されることになっていたのでした。

開催はコロナのために紆余曲折し、2020年は中止、2021年は直前になってからリモート開催に切り替えて漸く終わったのはよかったのですが、何か一つ達成感がないのは、人間の体温が伝わる対面の開催ではなかったからだと思います。

今日のようにこうして皆さんが直接お会いになれるということは、すべてが例年通りではないにしてもすばらしいことだと思います。

双松会も4年後の2026年には北高創立150周年の大きな節目を迎えますが、その時にはコロナもおさまり、盛会裡に、近畿の皆様にも多数お出でいただいて開催できることを心から願ってご挨拶とさせていただきます。

■松江北高校 木原和典校長 ご挨拶（要旨）

4月に北高校長になり、近畿で皆様にお会いするのも初めてですが、3年ぶりの開催、本当におめでとうございます。

私の生家は大田の温泉津です。浜田高校出身で、松江には縁がありませんでした。

初めての北高への勤務は36歳の時、国公立大学への進学率が全国一で、県総体も連覇に次ぐ連覇、また着任2年目には21世紀枠での甲子園出場などを経験した時期で、最大時は10クラスありました。

今は理数科を含め7クラスで、少子化の影響は大きく、定員が北高でもうまらない状況にあります。また、今の2年生からは松江市内の通学区制限が廃止され、生徒の入学状況は変わってきています。概して言えば、松江一中の生徒は北高への入学に慎重になって少し減り、今までは校区外だった二中、四中、湖南中の生徒が増えているという状態ですが、入学した後は今までと変わることなく、皆、楽しく明るく頑張っています。

部活動は、今年もボート部、弓道部、登山部、合唱部が全国大会に出場するなど、これまでどおり



全国レベルで頑張ってくれています。また、「科学の甲子園」では今年は物理部門で全国1位という快挙を達成し、化学、数学を加えた総合でも11位という素晴らしい成果をおさめてくれました。生徒諸君は文武両道の伝統はしっかりと受け継いでくれていると思います。

学校生活の現状などの詳細はお手元のパンフレットでもご確認ください。また、ホームページでの情報提供にも心がけていますので是非ご覧いただきたいと思います。

近畿双松会の皆様には引き続きのご支援をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

※松江北高十大ニュース (P19～20 掲載)

(注) 木原校長先生は、現下の感染状況から、ご挨拶後、懇親会を前に松江にお帰りになり、拍手でお見送りしました。

■「総会議事」

続いて「総会議事」に移り、松本会長が議長に選任され、宍道弘志副会長・事務局長 (31) より、議事 (1) 活動報告、議事 (2) 会計報告、ならびに監査報告 (鶴羽孝子監事・22)、議事 (3) 役員の選任、が報告され、それぞれ承認されました。

※議事 (1) 活動報告 (P10 掲載)

※議事 (2) 会計・監査報告 (P11 掲載)

※議事 (3) 役員の選任 (P12 掲載)

なお、新しく副会長になった山口紀子 (23)、徳田完二 (24)、松村聡 (26・理5)、宍道弘志 (兼事務局長・31) の四氏、また監事となった周藤達夫氏 (26) からは自己紹介、決意表明のご挨拶がありました。



山口副会長



徳田副会長



松村副会長



宍道副会長兼事務局長



周藤監事

(2) 第二部：「講演会」※ (P13 掲載)

(3) 第三部：「懇親会」

■「ご来賓紹介」「乾杯」

第三部「懇親会」は徳田完二副会長 (24)、松村聡副会長 (26・理5) の司会により、ご来賓ゲスト



を歓迎の拍手で迎えた後、双松会金平憲幹事長 (16) の乾杯御発声で始まりました。

この総会始まって以来とも言える「三密回避を！」「適切なマスク着用を！」「マナーにご留意を！」などのお願いをしながらでしたが、出席者には終始なごやかに会食、懇親をいただきました。

■「スピーチ」

テーブルを越えて、あちらこちらで再会の歓談がなされる中、まず最初に最高齢参加者の堀江眞三人様



堀江眞三人様 (2)

(2) から、来年度の65周年記念総会では是非「ドジョウ掬い」を踊りたいというお元気なスピーチをいただきました。

続いて、今回の「初参加者」として、伴 稔也様 (9)、志賀 潔様 (11)、飯石浩康様 (25・理 4)、福富由美子様 (26)、高野直樹様 (36)、田中秀明様 (41) から自己紹介や、今後の参加への力強い決意表明がありました。



伴 稔也様 (9)



志賀 潔様 (11)



飯石浩康様 (25・理 4)



福富由美子様 (26)



高野直樹様 (36)



田中秀明様 (41)

また、岡久夫様 (17) 岩田一志様・新見泰朗様 (19) からは昭和 39 年の前回の東京オリンピック時に聖火リレーで頑張った共通の思い出が青春の輝きとしてご披露されました、



左から、岡久夫様 (17) 新見泰朗様 (19) 岩田一志様 (19)

■「校歌斉唱」

コロナの中では長すぎる宴会も控えなければならず、頃合いをみてエンディングに向かいました。

「校歌斉唱」は例年は壇上に溢れるほど集合いただきましたが、今年は三密回避の趣旨から、三好資子顧問 (20) に壇上からのリードをお願いし、その他のご登壇は松本会長、勝部双松会副会長、初参加の高野様 (36) 田中様 (41) までとし、多数の皆様へのご登壇のお願いはしませんでした。



また、旧制松江中学「赤山健児の歌 朝日直さす」斉唱の際は、唯一、松中経験者の堀江眞三人様 (2) にご協力をいただき、壇上でエールを切っていただきました。

来年こそは壇上一杯の人で声高らかに「山脈浮かびて」を歌いたいと思います。



■「万歳三唱」

そのあと、「万歳三唱」となり、今年の当番期は 15 期で、真庭功様の力強いご発声で、近畿双松会のますますの発展と参加者のご多幸を願って、力強く万歳を三唱しました。



■「全員集合記念写真撮影」

最後に残った仕事は、吉例となった全員集合の記念写真です。コロナのため三密になることへのためらいもありましたが、皆様のご協力もあって、実に手際よく撮ることができました。

その写真は表紙にあしらいましたので、迫力と楽しい雰囲気をご確認ください。

以上で3年ぶりの総会・講演会・懇親会を難しい条件の中でしたが、無事に予定を終了し、最後に山口副会長から旧制松江中学 46 期の山本幡男先輩に関わる映画「ラーゲリより愛を込めて」の上映紹介、ならびに今西亜子幹事（43）から1月の「宝塚歌劇鑑賞会」の募集案内のお知らせがあって、すべてお開きとなりました。（15 時 20 分）

第一目標であったお互いの元気な顔を確認することができて、本当に有意義な会合となりました。次回での再会を楽しみにしたいと思います。

皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。



■実務をご担当いただいた皆さんを下記に紹介し、御礼に代えます。（敬称略）

- 総括：宍道（31）＜補佐＞浅沼（32）
- 新型コロナウイルス感染対応：宍道、今西（43）
- 中央電気倶楽部担当（座席・料理）：宍道
- 一部・総会司会：山口（23）、（議事報告）宍道（監査報告）鶴羽（22）
- 二部講演会司会：宍道（補佐：周藤（26）野口・新宮（27）
- 三部懇親会司会：徳田（24）松村（26）（補佐）周藤、新宮
- 来賓、出席者出迎え：松本（16）押田（11）梅木（16）三好（20）
- 講師担当：宍道（松本）
- 受付&会計担当：統括：山口（後見）三好（主に受付）松本幸（23）新宮・木田・松田（27）（主に会計）前羽・矢野・井山（26）、今西
- 会場設営：総括：小数賀（20）徳田、松村、周藤（後見）梅木、岡（17）小田（18）岩田（19）
- 映像・音響・照明・録音：浅沼、野口（後見）宍道、徳田
- 演台・マイク担当：浅沼、野口（松村）
- カメラ担当：統括：今西（後見、小数賀）村田（22）朝比奈（23）須藤、野口、浅沼



<総会議事1> 近畿双松会 活動事業報告

(以下★印⇒新型コロナウイルス感染の影響を受けたもの)

◆2021(令和3)年度

9月	29日	木	★総会・懇親会中止、その他お知らせを全会員に発送
10月	下旬		今後の役員体制についての意見交換終了
11月	13日 20日	土 土	★(松江)創立145周年記念双松会総会を縮小して開催(祝電送信) 臨時「顧問・会長・副会長会議」を開催し、以下二点を協議 ①「次期役員体制」、②「緊急事態下での運営を可能にする会則の改訂」
12月	4日 19日 25日	土 日 土	上記二点に関し、全役員にメール、郵送で稟議願いを発送 同上に関し、役員全員の賛成を得て議決 同上に関し、1月1日付けでの発足、運用開始をHPとSNSで会員に告知
1月	1日 16日 23日 28日	土 日 日 金	「新役員体制」発足、ならびに「新会則」の運用開始。 令和3年度「会報」の編集開始 第4回宝塚歌劇鑑賞会(34名参加、於：宝塚大劇場) 新旧「顧問・副会長」の顔合わせ会議開催 メールマガジン”さんみゃくうかびて”第100号を配信
2月	28日	月	北高卒業生に双松会入会式で「メールアドレス登録」を要請 ★令和3年度「役員会」開催 ⇒延期
3月	13日 31日 〃	日 木 〃	令和2年度会計監査実施 ★第13回落語鑑賞会(於：天満天神繁昌亭) ⇒中止 令和3年度「会報」の発行 令和3年度会計年度終了

◆2022(令和4)年度

4月	1日 17日	木 日	令和4年度事業・会計開始 令和2年度「会報」と令和3年度事業の運営方針発送
6月	18日	土	令和4年度「役員会」開催(参加29名)⇒総会開催をめざすことを確認
7月	17日	日	「文楽鑑賞会」を3年ぶりに開催(参加29名)
8月	7日	日	総会開催に向けて事務局会議を開催(顧問・会長・副会長参加)
10月	2日 16日	日 日	総会開催案内発送(9名で対応) 「新ハイキング」を3年ぶりに開催(参加16名) 於：神戸須磨 (旧歴史ウォーキングと里山ハイキングを統合)
11月	20日 26日	日 土	総会開催直前事務局打ち合わせ会議開催 令和4年度「総会・講演会・懇親会」(3年ぶりに開催) (於：中央電気倶楽部、参加者はご来賓含め73名) (講演：土岐 祐一郎 氏(高30(理9)期、大阪大学消化器外科学教授) 演題は「外科医として消化器癌と戦う」
12月	18日	日	メールマガジン”さんみゃくうかびて”第150号を配信
1月	15日	日	★第5回宝塚歌劇鑑賞会(40名参加予定、於：宝塚大劇場) ⇒劇場スタッフの感染により、直前で公演中止
2月	12日	日	新年「事務局会議」開催
3月	31日	金	(予定)令和4年度「会報」の発行 令和4年度会計年度終了

※HPアクセス件数；2023.2.19現在 58,866件

前年+4, 258件(2022.3.15現在 54,608件)

◆2023(令和5)年度

4月	8日	土	(予定)令和5年度「役員会」開催
	16日	日	(予定)第13回落語鑑賞会(於：天満天神繁昌亭)

※メールマガジン”さんみゃくうかびて”：2023.2.19現在 162号を配信

<総会議事2>

2021（令和3）年度近畿双松会会計決算書

2021（令和3）年4月1日～2022（令和4）年3月31日 （単位：円）

収入の部	支出の部
◎ 前期繰越金 2,011,847	◎ 支出計 749,200
◎ 収入計 688,000	・通信費 226,796
・令和3年度運営費支援収入 456,000	・印刷費 131,960
・同、寄付・広告収入 232,000	・事務費 115,447
・令和3年度総会参加費 0	・郵便、銀行手数料等 34,497
・令和3年度諸行事参加費収入 0	・令和2年度会報費 240,500
・令和4年度役員会参加費 0	・令和3年度総会費 0
・利子収入	・令和3年度諸行事支払い 0
	・令和4年度役員会会議費 0
	◎ 次期繰越金 1,950,647
	・内訳
	（郵便貯金振替残）1,733,363
	（郵便貯金）151,037
	（現金）66,247
◎ 総合計 2,699,847	◎ 総合計 2,699,847

繰越金前年比 （－）61,200

上記のとおり報告いたします。

会長 松 本 耕 司 ㊞

監査の結果、正確に処理・記帳されていることを認めます。

2022（令和4）年3月13日

監事 鶴 羽 孝 子 ㊞

監事 周 藤 達 夫 ㊞

<総会議事3>

近畿双松会役員 (2022.1.1付け)

2021年12月19日役員会承認

※新しい(役)の方

(役)	(期)	(氏名)	(役)	(期)	(氏名)
常任顧問	高7	山本 雅昭	常任幹事	高17	岡 久夫
常任顧問	高11	押田 良樹	常任幹事	高18	小田 一美
※顧問	高16	梅木 隆志	幹事	高18	石賀 誠一郎
※顧問	高20	三好 資子	常任幹事	高19	岩田 一志
			幹事	高19	池田 喜美代
会長	高16	松本 耕司	常任幹事	高20	山寄 麻里子
			常任幹事	高20	渡辺 悟
副会長	高23	松本 潤	常任幹事	高20	小数賀 健二
※副会長	高23	山口 紀子	常任幹事	高22	村田 貢
※副会長	高24	徳田 完二	幹事	高22	内藤 善夫
※副会長	高26・理5	松村 聡	常任幹事	高22	大浦 綾子
※副会長 兼・事務局長	高31	宍道 弘志	※常任幹事	高23	松本 幸子
			幹事	高24・理3	岩間 令道
監事	高22	鶴羽 孝子	幹事	高24	糸原 直彦
※監事	高26	周藤 達夫	幹事	高25	小林 宏
			幹事	高27	新宮 富美子
幹事	高1	荏田 運三郎	幹事	高27	野口 博也
幹事	高2	堀江 眞三人	幹事	高29	山本 修司
幹事	高3	緒形 公士	幹事	高30・理9	千葉 潮
常任幹事	高5	山田 稔	幹事	高31	小林 満
幹事	高6	田村 稔久	※常任幹事 (事務局長補佐)	高32	浅沼 吉正
常任幹事	高7	廣政 俣彦	※常任幹事	高32	木村 滋樹
幹事	高9	逸見 充宏	幹事	高32	田黒 公司
幹事	高10	面白 紘	幹事	高33	柳井 利明
幹事	高11	田中 一男	常任幹事	高35	富岡 幸子
幹事	高12	萩野 貫悟	幹事	高36	森口 次郎
幹事	高13	永江 幹雄	幹事	高38	長谷川 浩之
常任幹事	高14	加藤 巡一	幹事	高40	福江 直広
常任幹事	高15	金坂 喜好	幹事	高42	三好 博子
幹事	高15	佐藤 修介	※常任幹事	高43	安達 宏昭
常任幹事	高16	土田 和男	幹事	高43・理22	今西 亜子
幹事	高16	三成 宏二			

以上 59名

※なお、下記の3名の方に友誼団体「近畿松江会」の「近畿双松会推薦幹事」を委嘱。

松本幸子常任幹事(23)、宍道弘志事務局長(31)、木村滋樹常任幹事(32)

■第二部「講演会」報告

・演題：「外科医として消化器癌と戦う」

・講師：土岐 祐一郎 氏 (30・理9期、大阪大学消化器外科学教授)



＜講師略歴＞母衣小・松江二中卒、1985 年大阪大学医学部卒業、1993 年米国コロンビア大学留学、2008 年大阪大学消化器外科教授、2020～2022 年大阪大学医学部附属病院長（病院長として

新型コロナウイルス感染に対応）

・日本癌治療学会理事長、日本食道学会理事長、がん対策推進協議会会長

専門は消化器癌手術、特に食道癌

・高校時代は興味がなかったが、父、土岐俊一氏（北高数学教師）の希望があり医学の道へ進む。中学時代はバスケット部、大学は卓球部

＜講演要旨＞

冒頭、北高の教師をされていた父君が西川津校



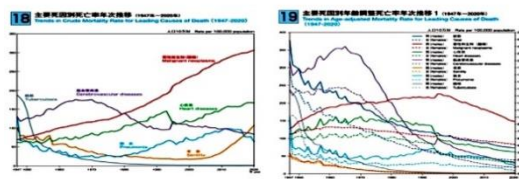
内の宿舎に居を構えておられたことから、幼少時から西川津、

北高に親しんでいたという思い出をユーモアを交えて話されました。

阪大医学部、外科医の道に進まれた経緯、阪大附属病院の院長を務めておられた時期の新型コロナ感染、特に 2021 年 GW 頃の第 4 波時の重症者受け入れ対応での厳しい体験談を披露されたあと、本題に移られました。

最先端癌治療として、内視鏡やロボットなどによる外科手術の進歩、遺伝子パネル検査利用の治療、画像を使った治療、新しい抗癌剤、オプシーボなどの免疫療法、重粒子線治療などを、さらには、国のがん対策関係事業に関わっておられる関係から、癌治療だけでなく、癌患者の就労支援、小中高校生向けの癌に関する正しい知識の教育、癌患者に対する各種ケアなどの実践も紹介されました。

2人に1人は癌になり、
3人に1人は癌で亡くなる



最後には、2020 年に松江のくにびきメッセでの「手術手技研究会」で講演された次のことを引用されて講演を締められました。

即ち、土岐氏は進行癌の手術を専門にされているため「メスの限界」に直面し、治るか治らないかは「神頼み」という側面にも出会うことがある。その時に「手術の神様」が窮地から救ってくれたと感ずることがあるが、その運を呼び込むためには努力が必要である。我々は努力した結果、知識と技術を習得し、神様は努力を尽くした者だけを救ってくれるのではないかと考えている。



「やるべきことは全てやった、後は神様に祈るのみ」と、いつもそういうすがすがしい気持ちで手術に臨みたい、というお話をお聞きし、大変感銘を受けました。

以上、癌治療のまさに最前線で奮闘されている土岐氏ならではの貴重なお話をお聴きし感謝するとともに、今後の益々のご活躍をお祈りします。

なお、ご父君、土岐俊一先生は昭和 27 年から 42 年までと、昭和 47 年から 59 年までの 2 度に



わたり通算 27 年間、松高・北高で数学の授業を担当されました。出席者の中にも、教を受けた会員が多く、懇親会では、土岐氏の席には引きも切らずに会員が挨拶に向かっていました。

■懇親会（期別・テーブル別）写真



ご来賓、7・16・30期



ご来賓、2・6・11期



7・9期



9期



10・11・12・14期



14・15期



16期



17・19期



18・19期



20・36・41期



22期



23・24・25期



26期



27・29期



26・31・32・43期



受付チーム

■2022 (令和 4) 年度 諸行事報告

◆第 15 回「文楽鑑賞会」

日時／令和 4 年 7 月 17 日 (日)

会場／国立文楽劇場

担当／宍道弘志 (31) 報告者／押田良樹 (11)

演目／「心中天網島」から四段

コロナのため、すべての行事も中止になり、待ちに待った再開は「文楽から」となりました。文楽も令和元年 7 月以来 3 年ぶり。感染に対して万全の注意を払い、当日は会員の家族、友人を含め 29 人が参加、久しぶりの文楽を楽しみました。

この「心中天網島」は享保 5 年 (1720 年)、大阪網島の大長寺で実際に起こった紙屋の主人治兵衛と遊女小春の心中事件を題材に、事件後 2 ヶ月足らずで近松門左衛門が作りあげ、近松作品の中でも特に傑作と評価されています。

今の時代からすれば、治兵衛のあまりの自己中心のダメ男ぶりにはあきれ果てる思いで、そのような夫に対して犠牲的な献身を尽くす女房のおさんのけなげさには同情の念を禁じ得ませんでした。これがあの時代の日本の価値観の基準だったかと、あらためて文楽の世界を思い出しました。



◆参加者は下記 29 名 (ご家族 7 名含む)

田村稔久 (6) 田村廸子 (11) 石原綏子 (6) 押田良樹 (11) 安部正毅 (13) 加藤巡一・川上克彦・小泉勝是 (14) 土田和男・松本耕司・森藤哲章 (16) 佐野和子・山崎麻里子 (20) 大浦綾子・鶴羽孝子 (22) 小松久美子・西村充子・松本幸子・山口紀子 (23) 宍道弘志 (31) 竹谷奨・松岡茂 (ゲスト)

◆第 1 回 “新” 「ハイキング」 (須磨)

日時／令和 4 年 10 月 16 日 (日)

場所／神戸、須磨、舞子近辺

担当・報告／山口紀子 (23)

今回から今までの「歴史ウォーキング」と「里山ハイキング」を一本化して、「“新” ハイキング」とし、初めての開催となりました。

総会自体を開催するかどうかを判断する大事な時期との絡みや、天候の見極めもあり、開催までは苦労しましたが、終わってみれば一番良い日に実施できたことになりました。

今年の大河ドラマ「鎌倉殿の 13 人」から源平の古戦場へということで、平成 24 年の「清盛 in 神戸」以来の神戸方面での実施となり、JR 舞子駅に 10 時集合。日本一のつり橋「明石海峡大橋」を見て、舞子公園内の「舞子海上プロムナード」で、海上 47m、陸地から 150m の突出した回遊式遊歩道からのスリルをたっぷり味わいました。

続いて、山陽電車に乗って須磨浦公園へ、ロープウェイとカーレーターを使って頂上に上がり、瀬戸内の「光る海」を堪能して昼食。その後、古戦場周辺の敦盛塚⇒源平の戦の濱碑⇒安徳帝内裏跡⇒村上帝社⇒須磨寺と巡り、須磨寺では敦盛公寵愛の「青葉の笛」、「弁慶の鐘」を見学して解散しました。

快晴の一日に心も洗われる思いがし、久しぶりのささやかな打ち上げにも心が弾みました。



◆参加者は下記 16 名 (ご家族 2 名含む)

田中英明・佐々木悦子 (9) 押田良樹・田中 一男 (11) 安部正毅 (13) 宮原琢郎・三島 幸子 (14) 松本耕司・田中由美子 (16) 岡久夫 (17) 三好資子 (20) 大浦綾子 (22) 朝比奈博則・山口 紀子 (23)

■ 2022（令和4）年度 SNSによる情報発信と実績■

<メールマガジン（以下：MM）、LINE@（以下：L@）>

当会の将来を見据えた情報発信体制整備のために取り組んでいる「SNSによる情報発信」は、三年目を迎えた2022年度も下記70件に近い発信をすることができ、会員の受信者も330名強を超えるまでになりました。（MMの愛称は、「さんみゃくうかびて」） SNS担当の押田良樹さん（11・MM&HP担当）、富岡幸子さん（35・L@担当）、安達宏昭さん（43）には厚く御礼申し上げます。

会員の「絆」をさらに強めていくため、引き続き受信者の拡大に努め、今後もよりよいSNS（MM／L@）の発信をめざしてまいりますので、ご登録がまだの方は、この機会に次ページの手続きに従い、メールアドレスを登録いただきますようお願いいたします。

<※編集注>MM受信の登録をされていない方は、下記配信実績の内容を近畿双松会ホームページの左列見出し「メルマガアーカイブ」からご覧になれますのでご利用ください。

<2022 MM “さんみゃくうかびて” 発信実績>

No.	月/日	記事	No.	月/日	記事
2022			130	8.26	北高「紅陵祭」での野外劇のライブ配信お知らせ
97	1.12	郷土関係テレビ番組のお知らせ	131	9.1	本年度「総会・講演会・懇親会」のお知らせ
98	1.19	北高「エンパワーメントプログラム」の報告	132	9.1	島根県関連のテレビ番組等配信のお知らせ
99	1.28	映画「高津川」が近畿地区で公開されます	133	9.9	市報松江9月号に山崎麻里子さん（20）が寄稿
100	1.28	第4回宝塚歌劇鑑賞会を開催しました	134	9.12	島根県関連のテレビ番組放映のお知らせ
101	3.2	松江北高卒業式の記事・動画の紹介	135	9.12	押田良樹さん（11）の「ヘルン第二の住まい」をHPに掲載
102	3.2	島根県古代文化センターのHPのリニューアル	136	9.15	（新）ハイキングのご案内
103	3.15	映画「RAILWAYS」のTV再放映のお知らせ	137	9.18	「総会・講演会・懇親会」を開催予告
104	3.31	HPに令和3年度松江北高十大ニュースを掲載	138	10.2	郷土関係テレビ番組のお知らせ
105	4.1	北高「エンパワーメントプログラム」の動画アップ	139	10.21	「湖都松江」vol.44発行のお知らせ
106	4.3	小泉勝是さん（14）のラジオ出演、radikoお知らせ	140	10.2	北高普通科2年生の近畿研修が実施
107	4.4	島根県古代文化センター動画公開のお知らせ	141	10.2	新ハイキング（神戸須磨）を実施しました
108	4.9	「松江城を守る会」会報第2号発行のお知らせ	142	11.13	小泉勝是さん（14）の水彩画グループ展お知らせ
109	4.12	「湖都松江」vol.43発行のお知らせ	143	11.24	第5回「宝塚歌劇鑑賞会」のご案内
110	4.29	伴稔也さん（9）「ふたり展」開催お知らせ	144	11.24	NHKで「出雲“神話の国”の謎」放映
111	5.6	北高が「科学の甲子園全国大会」で物理分野第1位	145	11.29	「速報！」令和4年度総会・講演会・懇親会を開催
112	5.10	橿原考古学研で「八雲立つ出雲の至宝」展開催	146	12.3	「ラーゲリより愛を込めて」上映お知らせ
113	5.18	郷土歴史関係展示等のお知らせ3件	147	12.3	「双松会報」連載「ああ！山本幡男君」について
114	5.24	島根県関連のテレビ放映のお知らせ	148	12.5	「古代出雲文化フォーラム開催」お知らせ
115	5.27	松江を舞台にした映画のご紹介	149	12.11	三吉孜さん（16期）の写真展のお知らせ
116	6.2	第15回文楽鑑賞会のご案内	150	12.18	北高「世界のたれ」プログラム授業の公開配信
117	6.8	HPに2021年会報の会員の近況報告を掲載	151	12.31	R4年度「総会・講演会・懇親会」をHP掲載
118	6.12	HPに2021年会報の会員投稿を掲載	2023		
119	6.17	特別展「陶技始末一河井寛次郎陶芸」開催	152	1.20	島根の歴史文化講座の動画公開のお知らせ
120	6.20	「近畿松江会」の入会者募集のお知らせ	153	1.20	島根県関連のテレビ番組放映のお知らせ
121	6.22	松江北高の学校紹介動画について	154	1.20	「松江城を守る会Web講座」公開について
122	6.25	小泉八雲関連テレビ番組のお知らせ	155	1.29	HPに会員の「近況・所感・読書感想」掲載
123	6.29	令和4年度近畿双松会役員会を開催	156	1.30	北高「部活動状況報告」が北高HPに掲載
124	7.2	島根県関連のテレビ番組放映のお知らせ	157	1.30	島根県古代文化センターシンポジウムのHP公開
125	7.23	島根県古代文化センターの新着動画のお知らせ	158	2.4	郷土関係テレビ番組放映のお知らせ
126	7.23	松江北高の「津和野研修」について	159	2.4	引退した元隠岐の海関のインタビュー動画
127	7.24	第15回文楽鑑賞会を開催	160	2.10	第12回「落語鑑賞会」のご案内
128	8.21	近畿島根県人会報「かけはし」へ松本会長が投稿	161	2.19	伴稔也さん（9）絵画作品受賞と展示会のお知らせ
129	8.23	プラタモリ 山陰関係放映のお知らせ	162	2.19	HPに令和4年度松江北高十大ニュースを掲載

■近畿双松会からのお願い■

メールマガジン“さんみゃくうかびて”と、LINE@を受信下さい

近畿双松会はメールマガジン（以下MM）とLINE@（以下L@）で、総会や同好会行事、会員の活動紹介、北高やふるさと松江・島根に関する情報を配信していますので、ご参加、ご受信ください。（MMとL@は上記の配信に限定します。）

登録されたメールアドレス等の情報は、近畿双松会の趣旨・目的にかなう内容のみに使用し、MMの運用も専門業者と契約して個人情報の管理には万全を期します。

<1>メールマガジンで受信する

メールアドレスの登録が必要です。（下記いずれかで登録ください）

- ① PC、スマホで、近畿双松会HP（「近畿双松会」で検索）のトピックス上部の「★メールアドレスの登録をお願いします★」から登録してください。
- ② または、スマホのQRコードアプリをお持ちの方は、右記から上記のページを読み込み、所定項目を記入、送信ください。
- ③ 上記①②で登録できない場合は、PC、スマホから、下記専用アドレスを直接入力して記入、送信ください。



⇒専用（送信元）アドレス；kinkisoushoukai-net@kinki-soushoukai.org

※【件名】には、「メールアドレス登録」と記入。

※本文には、（必須）①お名前（旧姓）、②卒業期（卒業年）（任意）③住所、④電話、などを記入ください。

※：スマホでメールマガジンが受信できない場合、受信拒否設定をされたままの可能性もあります。

上記、専用（送信元）アドレスの受信を許容する設定にしてください。

※：スマホからの登録の方で、PCのメールもお持ちの方は、PCメールとの複数登録をおすすめします。

※：PC受信の場合、稀に「迷惑メール」に入っている可能性もありますので、チェックしてください。

<2>LINE@で受信する

右記、QRコードから登録ください。

MMと同一の情報はL@からも受信できます。スマホでの受信が便利な方は、L@を利用ください。

※「トーク」から①お名前（旧姓）と②卒業期（卒業年）を入れて登録し、「タイムライン」で受信ください。

※「お名前、卒業期」は、必ず登録ください。



（注）MMとL@は、両方ご登録でも、どちらか一方でも結構です。

★2022(令和4)年度 松江北高校十大ニュース★

(注) この記事は北高教頭・双松会事務局長の伊藤尚子先生(40期)に特別制作のご協力をいただきました。

▼R4年3月卒業生の進路

国公立大学に198名(既卒者を含む)が合格。難関10大学の合格者は22名で、そのうち京都大の4名は昨年度の5名に続く多さの現役合格がありました。医学部6名、私立大学は延べ356名の合格者数でした。with コロナ時代で2年次は長い休校でスタートし、各種行事の取りやめなど通常の学校生活がままならないことが多かった学年でしたが、粘り強く取り組む北高生の姿を結果に残してくれました。

▼R4年度入学生から推薦選抜入試の実施

令和4年度から普通科における推薦選抜入試を初めて実施しました。「世界の人たれ」のスクールポリシーにかなう人物を求めたところ定員を超える応募があり、5名が合格しました。入学後は勉強や部活は勿論、エンパワーメントプログラムや弁論大会参加など、それぞれ自分のやりたいことにチャレンジしています。クラスだけでなく、学年や学校を引っ張っていく存在になってくれることを期待しています。

▼コロナ禍における学校生活

令和4年度もコロナ対応に追われた一年でした。特に年度前半は、学校の敷地内での部活ごと、クラスごとの集団検査や、総体などの大会前には検査協力を求められたりなどの対応に追われました。4月と8月にいくつか学級閉鎖もあり、伝統のロードレースは今年も見送りましたが、学校全体が休校になることはなく、年度の後半には市内や他校に比べて第8波の影響は非常に少なく、落ち着いた学校生活が送れるようになってきました。少しずつ以前のように行事や集会ができるようになってくると期待しています。

▼紅陵祭 「築^{きづき} 〜Constructive Destruction〜」

9月には恒例の紅陵祭(学園祭)がありました。コロナ禍での開催3年目の今年は外部からの来場を保護者に限っては可としました。1年生の合唱コンクールが復活、3年生のページェントを限定公開配信するなど、これまでの築きあげてきた伝統を守り、新たなことへも挑戦しながら、まさに「築」のテーマのもと、みんなが最後までしっかり楽しむことができた学園祭となりました。



▼部活動の活躍の跡

6月の県総体の男女総合成績は9位でしたが、各部とも最後まで粘り強く戦い抜きました。今年度は文化系の部活動の活躍が目立ちました。合唱部は11年ぶりに全日本合唱コンクール全国大会への出場を果たしました。また、自然科学部を中心に参加した「科学の甲子園全国大会」の物理部門で全国1位、総合成績でも島根県勢で過去最高の11位となりました。また、囲碁部も全国高等学校総合文化祭で団体4位になるなど、全国区での上位入賞も大きな話題となりました。



▼北高魅力化事業その１：２年生普通科近畿研修、理数科関東研修の実施

10月5～7日に普通科２年生で初めての近畿研修旅行を実施しました。近畿方面に進学した先輩たちと座談会があったり、コース別研修では企業や大学を訪問したりと自分の進路についてしっかり考える機会となりました。

また、理数科２年生も同じ日に３年ぶりで関東研修の実施ができました。最先端の研究施設や東京大学研究室の訪問、各分野での研究者との直接交流など充実した研修となりました。

いずれの研修も広い世界へ視野を広げ、友人との楽しい時間を過ごす貴重な体験となりました。



▼北高魅力化事業その２：エンパワーメントプログラム

昨年に続き12月に本校でエンパワーメントプログラム（5日間を英語のみで過ごす語学研修）を希望者対象に実施しました。

34名の参加希望者があり、5日間で語学スキルはもちろんのこと、挑戦する精神や自分についての新たな気づきなどそれぞれが自分自身の成長を感じられる5日間となりました。



▼北高魅力化事業その３：キッズ☆サイエンスプログラム

今年度初めて開催しました。地元の小学生を対象に、高校生が先生役となってサイエンスの不思議を学ぶという企画で、各回のテーマを生物・物理・地学・化学に分け、4回実施しました。

高校生にとって貴重な経験の場ではありますが、小学生や同伴してもらった保護者にも北高をアピールする絶好の機会となりました。毎回応募者多数で、参加者からの評判もよく、今年度よりSTEAM教育を推進する本校にとって今後の目玉企画のひとつになっていくものと期待しています。



▼起雲館（卒業生会館）の老朽化

創立100周年記念と同時に竣工記念式典を行ってから、かれこれ50年近くになろうとしている校舎に隣接する起雲館も老朽化が目立ってきました。学食などを含む内部の施設設備も古くなってきており、外壁等にも損傷が目立ってきています。今年8月には4階の天井から雨漏りもあり、応急処置や修繕に迫られました。



▼「松江北高等学校魅力化コンソーシアム」の立ち上げ

昨年度3月に準備委員会を行い、今年度より正式に「松江北高等学校魅力化コンソーシアム」が立ち上がりました。役員会は現在校内外の関係者13名で構成されていますが、双松会から泉副会長にメンバーとして入っていただいております。今年度は卒業生会とコラボしたウェビナーなど行っていました。今後も双松会をはじめとして、様々な地域との連携をすすめ、北高の教育活動がますます充実していくことを期待しています。

■2022（令和4）年度「運営費支援、寄付」ご協力者ご芳名（敬称略）■

近畿双松会は有志の皆様のご支援により運営しています。ここにお名前を記して御礼に
代えさせていただきます。

（令和5年2月20日現在）

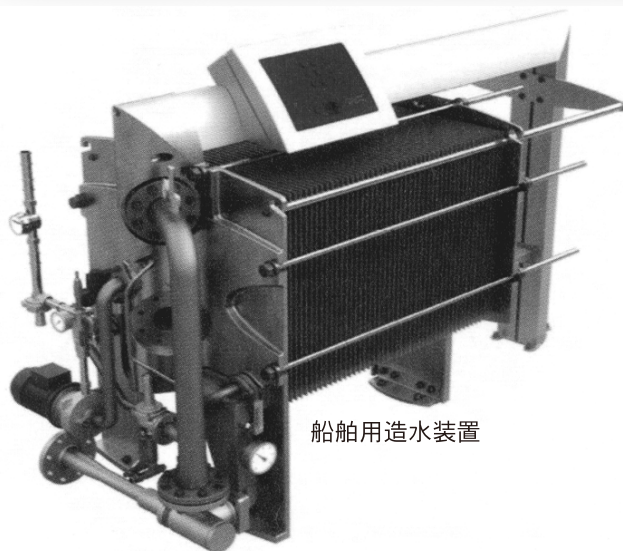
中68期	田中 一男	伊藤 育子	内藤 清志	前羽 香江
荒銀 昌治	野津 丞	田中由美子	内藤 善夫	矢野美紀子
高1期	畑田 稔	中安 節子	村田 貢	高27・理6期
飯塚 満男	村尾 俊治	高17期	大浦 綾子	野口 博也
伊藤 雅義	湯川 好満	岡 久夫	木山 洋子	三浦 清
荏田運三郎	今井 洋子	後藤 研三	鶴羽 孝子	木田 京子
喜多川治美	田村 純子	永井 貞泰	西村 紀子	新宮富美子
高2期	中尾 長子	野津 博	松下 和子	松田 稚子
堀江真三人	中川 陽子	大石 絹江	高23・理2期	高29・理8期
神田田鶴子	高12期	木島 光子	朝比奈 博則	山本 修司
高3期	萩野 貫悟	西野やよい	近藤 文雄	原田理津子
小川 伸江	森 倫也	山口 悦子	柴山 佳久	高30・理9期
高5期	山本 輝夫	高18期	松本 潤	土岐祐一郎
板垣 衛武	安部 悦子	太田 善博	和田 邦孝	田邊より子
山根 徹	高13期	小田 一美	今西 桂子	高31・理10期
高6期	安部 正毅	北村 白雄	小松久美子	小林 満
萩野 克彦	今井 勝治	桑原 勇	橘 千里	宍道 弘志
田村 稔久	深澤千栄子	齋藤 正治	内藤みよ子	富永 浩
森岡 敏真	藤田トク子	稲生 喜子	西村 充子	中倉 行彦
荒木タミ子	水野 明代	白神知都子	松本 幸子	若林 武徳
高7期	高14期	高19期	山口 紀子	高32・理11期
青戸 俊夫	片山 伸雄	岩田 一志	吉岡 恵子	浅沼 吉正
寺本 好弘	加藤 巡一	新見 泰朗	葭田久美子	木村 滋樹
廣政 徹彦	川上 克彦	槇原 隆	高24・理3期	高33・理12期
山本 雅昭	木村 修芳	万波 迪義	伊藤 澄夫	柳井 利明
高8期	小泉 勝是	元栄 徹	岩間 令道	高35・理14期
黒田 牧夫	木幡 晃正	池田喜美代	金山 弥平	熊谷 稔
高9期	富永 寿郎	江守久美子	徳田 完二	高36・理15期
坂本 隆男	古川 幸孝	大久保章子	吉岡 秀文	今宮 一正
澄川 光成	宮原 琢郎	高20期	小川ひとみ	高野 直樹
田中英明	三島 幸子	井上 保教	瀬戸口二三子	森口 次郎
伴 稔也	高15期	小敷賀健二	西田 悦子	高37・理16期
逸見 充宏	金坂 喜好	金見 幸夫	水野 順子	栗山 謙一
山岡 裕明	佐藤 修介	渡辺 悟	高25・理4期	高38・理17期
安部 裕子	真庭 功	佐野 和子	岡 陽一	長谷川浩之
木村八重子	寄神 道子	平田 まり	飯石 浩康	山根 武広
佐々木悦子	高16期	三好 資子	富村 誠	高43・理22期
佐藤早智子	井上 伸久	物種 慶子	畠山 秀人	安達 宏昭
高10期	梅木 隆志	山寄麻里子	高26・理5期	今西 亜子
面白 紘	神田 俊之	高21期	伊藤 博之	柳田 尚美
佐藤 蒼治	佐々木康雄	野津 一雄	岩谷 智志	高44・理23期
佐和田 丸	土田 和男	花田 幸久	川谷 徳彦	皆瀬 千恵
清水 義男	坪倉 司郎	竹添 則子	周藤 達夫	
清水小枝子	長谷川賢治	高22・理1期	福岡 則博	
高11期	松本 耕司	石川 章	松村 聡	
押田 良樹	三成 宏二	内村 昭	安井 伸彦	192名
志賀 潔	森藤 哲章	金森 佳憲	井山 裕子	（昨年150名）

（ご不審の点は事務局までご確認ください）

《鉄道車両、船舶、産業機器、ソリューション》



イメージ画像



船舶用造水装置



LEDリモコン
サーチライト



鉄道車両運転台

株式会社
トヨーコーポレーション
TOYO & ENGINEERING CORP.

松江高校7期卒 山本雅昭

本社/〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-21-35 Tel.06-6443-2061 Fax.06-6443-9736
東京支店・豊中工場

©Gestaltung : K.Raum

編集後記

11月に3年ぶりの総会開催にこぎつけるまでの日々は紆余曲折、辛抱・我慢の連続でしたが、ご参加いただきました皆様には心から御礼申し上げます。私たちのような会では、直接お会いできる機会がいかにか大事であるかを、あらためて強く感じた次第でもありました。

しかし、もう大丈夫だろうなと思って準備していたその後の1月の「宝塚鑑賞会」は、なんと劇場スタッフに感染者が出て直前に公演が中止になるという事態となりました。40名もの多数のご参加希望の皆さんとご担当の今西さん（43・理 22）には本当にお気の毒でしたが、めげずに次回の盛会を期してまいりたいと思います。

まもなく迎える2023年度は当会にとって「設立65周年」の記念の年です。コロナが日本の社会の日常に与えた影響は計り知れませんが、母校と郷土の発展を願い、お互いの友誼・交流の場をめざす当会の目的に沿い、今後も一つひとつの活動を大事に継続していきたいと考えますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

なお、この「年次会報」から、従来の製本レベルとは異なる言わば「手作りタイプ」で、ページ数も減らして作成しました。ご推察のとおり、編集マンパワー面や経費面も関係しての判断からですが、ご理解をいただければ幸いです。このようにして今年も会報をお届けできたことを心から嬉しく思っています。

ウクライナの悲劇が一日も早く終わることを祈りながら・・・

2023.2.18 近畿双松会 会長 松本耕司（16）

この会報を入手ご希望の場合、またご質問は下記専用アドレスまでご連絡ください。

近畿双松会専用アドレス：master@kinki-soushoukai.org



ホームページ



メールマガジン



LINE@

近畿双松会報

2022（令和4）年度版

通巻64号

発行日／令和5年3月31日

発行者／近畿双松会：ホームページ／kinki-soushoukai.org

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-21-35

（株）トーヨーコーポレーション内

TEL. 06-6443-2062 FAX. 06-6443-9736

郵便振替口座／00910-0-103665 近畿双松会